

[江別市] 施策達成度報告書

政策 02 明日につながる産業の振興

施策 03 商業の振興

主管課 商工労働課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
人口が減少する中、高齢化が進み広域的な移動が難しくなりつつあり、消費動向は大きく変化している。 また、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響はさまざまな面で全国に広がっており、観光の自粛や国の経済政策（復興の強化）が変化している。	長期的な売り上げ減少が続いており、市内事業者の支援のため域内消費策が課題となっている。また、大規模小売店舗の撤退や地域商店街等の廃業に伴う振興策が課題となっている。

施策の目的

地域の特性を踏まえた個性的で魅力的な商店街づくりを補助・支援することで、市民が楽しく買い物ができるようにし、にぎわいのあるまちづくりを行い、商店街等中小小売商業の販売額の維持を目指します。

対象 (誰を対象とした指標か)

商業者、商店街（振興組合等）

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

江別市全体の商業者の販売額を増加させる。
地元に着した商店街の売上が増加する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
小売業販売額	億円	920	843	838	835	920
中小小売業（従業員5名未満）の販売額割合	%	11.4	-	-	-	11.4

施策の達成状況 (23年度)

道内の大型小売店販売動向によると、全店ベースでは、昨年度に続き飲食料品で前年比がプラスとなっているが、依然、既存店ベースでは各品目で減少傾向にある。（平成23年度の実績値算出にあたっては、平成22年度実績値に北海道経済産業局・北海道大型小売店販売動向の札幌市前年比▲0.4%（当市は札幌圏に属する）を乗じている。）

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,487,587	1,387,369	1,297,884
事業費(千円)	1,438,018	1,333,591	1,247,708
人件費(千円)	49,569	53,778	50,176

01 商店経営の充実

基本事業の目的

店舗の改善や設備の近代化を進め、経営基盤を強化し、品揃えや品質などの魅力を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商業者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

経営基盤を強化させ、品揃えなどの魅力を高める。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
店舗改善・経営改革した卸・小売者数 【初期値(H19) 前期4年間 3件(累計)】	件(累計)	-	5	6	8	7

基本事業の達成状況 (23年度)

市の資金融資制度を利用した11事業所中、店舗整備のための借入れは2件である。設備資金を借りることは継続的な返済の負担を生じるため少ない状況にあるが、融資を受けた店舗では消費者ニーズを踏まえた売り場改善や品ぞろえを図り、売り上げ増に努力している。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,301,409	1,151,805	1,106,284
事業費(千円)	1,292,140	1,141,371	1,096,977
人件費(千円)	9,269	10,434	9,307

02 商店街の活性化

基本事業の目的

消費者にとって便利で魅力のある地域密着型の商店街づくりを進め、日常、地元の商店街で買物をする人の満足度を高めます。

対象 (誰を対象とした指標か)

商店街(振興組合等)

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

商店街としての販売額を増やす。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
日常的に商店街を利用する市民割合	%	45.3	41.1	-	43.3	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

販売形態が多様化する中で、高齢化の進展により買い物エリアが日常生活圏内に変わりつつあり、消費者のニーズを反映した地域商店の活性化が必要であり、商店街が行う集客イベント等への助成などにより、来店を誘因する機会づくりを支援している。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	143,177	185,840	142,472
事業費(千円)	131,893	173,399	133,974
人件費(千円)	11,284	12,441	8,498

基本事業の目的

市民や商業者が協働して観光や地産地消の市内イベントを開催し、賑わいを創出・維持し、活性化を促進します。

対象 (誰を対象とした指標か)

市民、商業者、観光客

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

観光・市内イベントによって賑わいや訪れる場があり賑わいが創出される。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
観光入り込み者数	人	981,752	793,987	749,221	749,852	1,100,000

基本事業の達成状況 (23年度)

H21年度より観光入込客数対象地点の基準が限定(年間1万人以上、特定月5千人以上)されたため、初期値より大きく減少している。H23年度においては、入込客数が伸びない要因として、東日本大震災の影響やガソリンの高騰により、特に上期の観光が減少したが、食を軸としたイベント(B1グルメ)の開催により前年度より微増となった。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	17,222	22,280	21,536
事業費(千円)	7,550	10,241	9,396
人件費(千円)	9,672	12,039	12,140